

平成22年度事業の実施状況

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

I. 事業概要

平成22年度の本県畜産は、悪性伝染病や自然災害等によって大きな影響を受けた1年間でした。牛豚併せて約29万頭が殺処分された宮崎県における口蹄疫発生に際しては、本会は農林水産省からの協力要請に応じて2名の職員を派遣するとともに、簡易消毒器の関係団体への配付等の自主的な取り組みを積極的に行い、その活動については高く評価されました。しかし、5年に1度開催される乳牛の全国共進会の延期や県内家畜共進会の中止、農場訪問の自粛など、本会が関係する事業の実施には多大な影響がありました。

さらに、高病原性鳥インフルエンザが11月に中国地方の1県で、さらに1月から3月の間に8県24農場で発生し、合計185万羽が処分されました。本会は国の補助事業を活用して急遽、鳥インフルエンザ防疫研修会を開催するなど、その対応に追われました。

3月11日の東日本大震災は、飼料製造工場など畜産に直接関連する施設の甚大な被害に加え、燃料油の不足、計画停電など副次的な要因によって、家畜および畜産物の生産は大きな影響を及ぼしました。さらに、原子力発電所の事故により、牧草の使用制限や放牧の自粛など、長期にわたる畜産への影響の拡大が懸念されています。

このような厳しい状況にあって、本会が実施している事業との関連では、交雑肥育牛および乳用肥育牛で全期間を通じてマルキン事業の発動が続き、また肉豚についても全期間で価格差補てんが実施されるなど、畜産物の価格低迷による畜産経営への影響は深刻さを増しています。また、補助金の直接交付方式の開始など、本会が従来取り組んできた事業の仕組みの変更は、畜産現場にいくつかの混乱をもたらしています。

本会はこれらの動きに適切に対応すべく、従来から実施してきた畜産経営への個別支援の強化をはじめ、価格安定対策、家畜衛生対策、生産振興対策、家畜登録事業など、畜産経営のニーズを満たすための総合的な活動を、補助事業、受託事業、さらにはそれらを保管する自主事業等により実施しました。これらの実施に当たっては、会員の支援をいただきながら、群馬県をはじめ、中央団体、県内畜産関係団体との連携の強化に努めました。

II. 事業の実施状況

1 一般会計事業

(1) 農場の生産衛生の強化に関する事業(10事業)

ア. 家畜生産農場清浄化支援対策事業（家畜衛生推進協議会・補助）

豚オーエスキー病のワクチン接種費用の一部を補助するとともに、牛の吸血昆虫媒介疾病等の発生・流行防止を推進し、家畜の損耗防止と経営の安定を図りました。

	補助金交付戸数	補助金交付頭数
牛	478戸	13,221頭
豚	127戸	720,381頭

イ. 家畜衛生対策事業（オーエスキー病清浄化推進）（群馬県・補助）

地域ぐるみによる飼養豚に対する豚オーエスキー病ワクチンの全頭接種を奨励するため補助金を交付しました。

補助金交付戸数： 126 戸

補助金対象頭数： 719,736 頭

ウ. 豚オーエスキー病清浄化推進事業（群馬県・受託）

豚オーエスキー病の清浄化を推進するため、オーエスキー病対策協議会、検討会の開催、清浄化推進データの蓄積、広報等を実施しました。

エ. オーエスキー病抗体検査促進事業（自主）

豚オーエスキー病の清浄化を図るため、生産農場におけるウイルス抗体保有状況を調査した実績に応じて奨励費を交付しました。

奨励費交付戸数： 233 戸

促進費交付頭数： 3,421 頭

オ. 高病原性鳥インフルエンザ防疫対策確立事業（農畜産業振興機構・補助）

高病原性鳥インフルエンザのウイルス侵入防止をはじめとした防疫水準の向上を図るため、生産者、県内関係者を対象とした防疫検討会を開催しました。

研修会参加者数 205 人

カ. 家畜防疫互助基金造成等支援事業（中央畜産会・補助）

海外悪性伝染病が発生した場合に、飼養する牛、豚の自主淘汰に伴う損失を生産者等が互助補償する全国的な仕組みについて、生産者等に対する普及啓発、参加手続き事務等を実施しました。

事業参加戸数：

牛 928 戸

豚 257 戸

キ. 公共牧場予防接種円滑化対策事業（自主）

公共牧場の預託牛が補助事業により予防接種を行う場合の手続き等について定めるとともに、接種費用の自衛防疫協議会間の格差を是正するための奨励費を交付しました。

奨励費交付団体数： 1 団体

受益頭数： 347 頭

ク. 馬飼養衛生管理特別対策事業（中央畜産会・受託）

競走馬以外の馬飼養者への実態調査を実施して、馬衛生管理技術の向上を図りました。

調査戸数： 28 戸

ケ. 家畜衛生対策運営基盤強化事業（自主）

家畜衛生関係事業の効率的な事務処理を図るために必要な、データ処理システムの作成および管理を行いました。

コ. 予防注射推進強化対策事業（中央畜産会・助成）

家畜防疫事業の推進と予防注射の実施の徹底を図るため、資料等を配付して普及啓蒙を図りました。

（2）畜産物の安全性確保、畜産理解醸成に関する事業（6事業）

ア. 死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業（中央畜産会・補助）

24ヶ月令以上の死亡牛のBSE検査を円滑に実施するため、死亡牛の輸送、検査に必要な経費の一部について補助金を交付しました。

補助金交付頭数： 2,982 頭

イ. 牛せき柱適正管理推進事業促進費交付業務（日本畜産副産物協会・受託）

牛せき柱の適正な管理を実施した食肉処理事業者に対して支払われる促進費の交付に必要な確認事務を行いました。

対象処理事業者数： 5 社

ウ. 地域畜産ふれあい体験交流活性化事業（中央畜産会・助成）

畜産への理解増進や畜産物の利用拡大を図るため、親子牧場体験、畜産に関する消費者研修会、県内畜産物を用いた調理教室等のイベントを開催しました。

延べ参加者数 216 人

エ. 群馬の堆肥普及事業（自主）

良質な堆肥を家庭菜園愛好者等に配布して、畜産に対する理解醸成と堆肥の利用促進を図りました。

参加消費者数 約500人

オ. 地域畜産理解増進事業（自主）

畜産物の生産・処理加工までの一連の流れを学ぶための講習会を開催して、畜産物の利用促進を図りました。

参加消費者数 164人

カ. 牧場宿泊体験交流事業（自主）

酪農場等に宿泊し、搾乳、飼料給与、畜産物加工などの体験により、畜産への理解を深めました。

参加消費者数 57人

（3）畜産経営への支援・情報提供に関する事業（13事業）

ア. 地域畜産支援指導等体制強化事業（地方競馬全国協会・補助）

畜産経営への支援活動、消費者等への理解増進活動、食育への参画、地方競馬の振興等に関する事業効果を高めるための事業を実施しました。

イ. 畜産経営流通対策事業（畜産振興推進）（群馬県・補助）

畜産経営の経営改善計画、資金利用計画等の作成・達成のための個別支援、畜産経営データベース等の情報化技術を活用した個別・集団支援、畜産経営の高度化に必要な情報の提供や支援、個人・法人・県域を越えた企業的経営等の多様なニーズに対応した経営支援等を実施しました。また、消費者等から求められる安全で安心な国産畜産物の生産、資源循環の中心としての畜産の役割を十分に果たす観点から、畜産農家が求める経営技術に有用な情報を提供しました。

支援対象戸数：373戸

ウ. 畜産環境保全特別指導事業（中央畜産会・補助）

補助事業等により設置したふん尿処理施設の抱えている課題等について、現地調査および現地指導を実施し、家畜ふん尿の適切な処理を推進しました。また、良質堆肥の生産に必要なオガコの流通情報の収集を、製材業者等を対象として実施しました。

現地調査及び指導戸数：26戸

調査製材業者数： 14 社

エ. 畜産特別資金推進指導事業（中央畜産会・補助）

大家畜経営体質強化資金、大家畜経営活性化資金、養豚経営活性化資金借受者の経営の改善及び安定を図るため、指導推進協議会の設置、計画達成指導、経営分析による個別指導等を実施しました。

指導戸数： 29 戸

オ. 公庫資金活用推進支援事業（日本政策金融公庫・受託）

日本政策金融公庫資金の借りに際して必要な経営計画の作成等について、希望する生産者への支援を実施しました。

支援戸数： 2 戸

カ. 豚枝肉格付分析情報提供事業（自主）

豚枝肉格付データを収集し、独自の分析を加えた情報を四半期毎に提供して、枝肉品質改善を促進しました。

事業参加戸数： 114 戸

キ. 畜産経営情報公開支援事業（自主）

畜産経営情報を公開する場所を安価に提供することにより、畜産経営のニーズに応えると共に、本県畜産に関するポータルサイトとしての「ぐんまの畜産」ホームページの役割強化を図りました。

事業参加戸数： 10 戸

ク. 貸付事業指導等事業（畜産近代化リース協会・受託）

畜産近代化リース協会が貸付けた機械・車両等についての保守管理及び適正な使用に関する指導を実施しました。

指導貸付先数： 14 戸

ケ. 畜産経営支援情報活用事業（自主）

本会等が実施した畜産経営に対する支援情報の活用を図るため、支援情報データベースを構築しました。

データ登録数： 121 件

コ. 畜産協会情報提供事業（自主）

畜産農家に有用な情報等を掲載しました情報誌を4回発行して、生産者、関係

団体等に配布するとともに、本会ホームページにおいて広く情報提供しました。

配布数： 各回 9 0 0 部

サ. 畜産合同研修会開催事業（自主）

県内の畜産農家および畜産関係者を対象に、畜産情勢の分析と知識の向上を図るため、畜産生産者団体等と連携して研修会を開催しました。

参加者数： 2 8 9 人

シ. 肉用子牛個体登録データ管理事業（自主）

肉用子牛生産者補給金制度及び肉用牛肥育経営安定対策事業のデータ処理を合理化、適正化するために必要なデータ処理システムを整備しました。

ス. 豚生産情報管理強化推進事業（自主）

養豚農場及び養豚農家が構成するグループの生産情報の適切な管理指導を評価するための委員会を開催し、優れた農場、グループを本会が認定する仕組みを作った。

（４）畜産経営の安定化を図る事業（１５事業）

ア. 肉用牛肥育経営安定対策事業（農畜産業振興機構・補助）

肉用牛肥育経営の肥育牛について個体登録をおこなうとともに、出荷牛に対し、収益性が低下した四半期において補てん金を交付しました。

本年度登録戸数 3 2 1 戸

本年度登録頭数 7, 4 9 8 頭

補助金交付戸数 2 3 7 戸

補助金交付頭数 7, 1 6 1 頭

イ. 肥育牛生産者収益性低下緊急対策事業（中央畜産会・補助）

肉用牛肥育経営安定対策事業の契約生産者で、同事業の算定において推定所得が物財費割れとなった場合に、物財費割れの６割を補てんしました。

補助金交付戸数： 2 3 7 戸

補助金交付頭数： 7, 1 6 1 頭

ウ. 肉用牛経営等緊急支援特別対策事業（農畜産業振興機構・補助）

肥育期間の短縮等生産性向上の取り組みを行い、配合飼料使用量の低減を図る計画を作成し、実施した場合に、肥育牛の出荷頭数に応じた交付金を交付しました。

補助金交付戸数 230 戸
補助金交付頭数 7,709 頭

エ. 肉用子牛生産者補給金制度運営適正化事業（農畜産業振興機構・補助）

肉用子牛生産者からの申し込みにより肉用子牛の個体登録をおこなうとともに、販売・保留子牛に市場価格が低落した四半期において補給金を交付しました。

補給金契約戸数 445 戸
個体登録頭数 13,388 頭
(黒毛和種3,011頭、その他肉専用種2頭、交雑種7,789頭、乳用種2,586頭)
補給金交付戸数 24 戸
補給金交付頭数 2,241 頭

オ. 肉用子牛生産者補給金制度運営体制支援事業（農畜産業振興機構・補助）

肉用子牛生産者補給金制度の円滑な実施を図るために、制度運営の体制強化を図りました。

カ. 肉用牛繁殖経営支援事業（農畜産業振興機構・補助）

肉用子牛生産者補給金制度を補完し、子牛価格が発動基準を下回った場合に、差額の一部を補てんして肉用牛繁殖経営の安定化を図りました。

支援金交付戸数 105 戸
支援金交付頭数 719 頭

キ. 肉用牛繁殖経営支援事業事務費（農畜産業振興機構・補助）

カの事業の円滑な実施を図るための事業を実施しました。

ク. 肉用牛肥育経営安定特別対策事業（農畜産業振興機構・補助）

肉用牛肥育経営の肥育牛について個体登録を行うとともに、出荷牛に対し収益性が低下した四半期において補てん金を交付しました。

本年度登録戸数 312 戸
本年度登録頭数 21,426 頭
補助金交付戸数 268 戸
補助金交付頭数 18,998 頭

ケ. 養豚経営安定対策事業（農畜産業振興機構・補助）

豚枝肉平均価格が生産コストに相当する保証基準価格を下回った場合に、生産

者の拠出と国の助成により造成された基金から、差額の8割を補てんする事業を実施しました。

補助金交付戸数 220 戸
補助金交付頭数 609,470 頭

コ. 群馬県畜産物価格安定推進事業（自主）

平成22年度養豚経営安定対策事業に伴う生産者積立金の一部について助成を行いました。

サ. 酪農ヘルパー傷病時等利用円滑化事業（酪農ヘルパー全国協会・補助）

酪農従事者が病気、事故等により就業不能となり、ヘルパー利用が一時的に増加しました場合の利用料負担の軽減を図るため、増加分の経費の一部について補助しました。

補助金交付件数：35 件

シ. 酪農ヘルパー事業円滑化対策事業（農畜産業振興機構・特別）

酪農ヘルパーの育成・定着を図るのに必要な体制の整備及び熟練した酪農ヘルパー要員確保の推進、ヘルパー作業の適切な実施に必要な資格の取得等に必要経費に対する補助を実施しました。

補助対象組合数：12 組合

ス. 酪農経営安定支援ヘルパー事業委託事務事業（酪農ヘルパー全国協会・受託）

酪農ヘルパー利用組合13組合の組織運営体制の調査、加入農家等の利用実績管理のシステム化及び加入農家等の利用実態等の調査を実施しました。

セ. 酪農ヘルパー傷病時等利用互助事業事務（自主）

酪農ヘルパー傷病時等利用互助事業を円滑に推進するための事業を実施しました。

互助金交付件数：35 件

ソ. 畜産経営活性化対策事業（自主）

育牛、養豚を対象とした畜産ヘルパーの活動費用の一部を助成するために造成した畜産経営活性化基金を閉鎖し、寄託者に返還しました。

（5）畜産の生産振興に関する事業（15事業）

ア. 多様な肉用牛経営実現支援事業（中核担い手育成増頭推進）（農畜産業振興

機構・補助)

1年間に繁殖雌牛の飼養頭数が増加した事業参加経営に対し、実績に応じて奨励費を交付しました。

補助金交付戸数 40 戸

補助金交付頭数 67 頭

イ. 多様な肉用牛経営実現支援事業（高生産性系統種雄牛作出利用推進）（農畜産業振興機構・補助)

新規に選抜された高生産性系統の優良種雄牛から生産された肥育もと牛（雄去勢）を導入し、その枝肉成績を提供した肥育牛生産者に奨励金を交付しました。

奨励金交付戸数 18 戸

奨励金交付頭数 29 頭

ウ. 生産振興対策事業（肉用牛繁殖基盤強化・優良繁殖雌牛導入）（群馬県・補助)

一定の要件を満たして肉用牛生産者集団が導入した優良繁殖雌牛に対して補助を行い、本県肉用牛繁殖基盤の強化を図りました。

導入戸数：3 戸

導入頭数：3 頭

エ. 生産振興対策事業（肉用牛繁殖基盤強化・育種化評価普及促進）（群馬県・補助)

繁殖牛の育種価データの評価・解析により育種価情報を提供するとともに、解析結果を活用した育種価の普及促進のための研修会を開催し、改良指導等を実施しました。

育種価データ数：35,266 件

評価頭数：4,958 頭

オ. 生産振興対策事業（肉用牛繁殖基盤強化・高育種価生産利用促進）（群馬県・補助)

育種価評価結果から、高育種価と判断された県内農家の繁殖雌牛からの受精卵生産と地域内利用を支援するため、補助金を交付しました。

受精卵生産戸数：13 戸

受精卵配布戸数：17 戸

カ. 肉用牛産肉能力平準化促進事業（家畜改良事業団・受託)

肉用牛の産肉能力を評価するために調整交配を実施し、その結果について調査してとりまとめた。

調整交配実施頭数： 99 頭

キ. 和牛改良組合活性化事業（群馬県和牛改良組合連絡協議会・受託）

和牛改良組合内の繁殖雌牛飼養実態を調査するとともに、各組合で定めた繁殖雌牛改良目標達成のための指導を実施しました。

指導組合数： 7 組合

ク. 地域養豚振興特別対策事業（農畜産業振興機構・補助）

養豚生産者集団が行う種豚改良や養豚生産振興のための活動に対して補助を行うとともに、必要な支援を実施しました。

補助金交付集団数： 7 集団

集団構成戸数： 106 戸

ケ. 生産振興対策事業（養豚生産基盤強化・飼養管理技術向上）（群馬県・補助）

種豚生産農場における飼養管理技術の向上を図るため、衛生管理状況および種豚生産利用調査、肥育技術向上研修会を開催しました。

調査戸数： 14 戸

研修会参加者数： 20 名

コ. 生産振興対策事業（養豚生産基盤強化・優良種豚導入）（群馬県・補助）

優良種豚を県内外から導入して種豚生産者へ貸し付けました。

導入頭数： 37 頭

サ. 肉畜養鶏等振興対策事業（養豚生産強化）（群馬県・補助）

優良種豚を外国から導入して種豚生産者へ貸し付けました。

導入頭数： 8 頭

原産国： デンマーク

（平成21年度事業の繰り越し分の実施）

シ. 酪農牧野振興対策事業（公共牧場利用促進）（群馬県・補助）

公共牧場の機能強化、入牧利用率の向上を図るため、簡易な放牧施設の整備、草地更新放牧地の害虫駆除。外部寄生虫駆除に必要な経費の一部について補助しました。

補助金交付牧場数： 5 カ所

ス. 粗飼料自給率向上総合対策事業（日本草地畜産種子協会・補助）

公共育成牧場利用及び粗飼料生産を促進するため、事業推進会議、研修会等を開催しました。

セ. 生産振興対策事業（養鶏振興推進対策）（群馬県・補助）

鶏卵の栄養知識に関する啓発資料を作成し、消費者に鶏卵の栄養知識を普及する活動を実施するとともに、各種イベント等に参加し、県産鶏卵の宣伝活動を実施しました。

ソ. 生産振興対策事業（優良はちみつ生産）（群馬県・補助）

みつ源となる植物の種子や苗木を購入してみつ源を確保するとともに、抗生物質等の残留検査を実施してはちみつの品質向上を図りました。

検査件数： 133 件

（6）家畜の改良、増殖に関する事業（7事業）

ア. 多様な酪農経営実現支援事業（改良基礎情報の取得対策）（農畜産業振興機構・補助）

生涯生産性等の評価に必要な乳用牛の体型データの収集を行いました。

調査頭数： 800 頭

イ. 第13回全日本ホルスタイン共進会出品対策事業（自主）

全日本ホルスタイン共進会への出品候補となる牛の調査を実施しました。

ウ. 第17回群馬県肉豚共進会事業（自主）

種豚の資質向上を目的として肉豚共進会を開催しました。

出品頭数： 136 頭

エ. 和牛全共出品対策事業（自主）

出品候補牛作出のための基礎雌牛の調査、指定交配、高育種価受精卵の配布を実施しました。

調査頭数： 178 頭

指定交配頭数： 140 回 134 頭

受精卵配布数： 42 卵

オ. 生産振興対策事業（家畜登録促進）（群馬県・補助）

家畜の能力改良を促進するため、家畜の血統整理や登録・登記を推進しました。

登録・登記頭数

乳牛： 3, 817 頭

和牛： 7, 590 頭

種豚： 567 頭

山羊： 64 頭

カ. 家畜登録事業（自主）

登録頭数

乳牛： 3, 102 頭

和牛： 833 頭

種豚： 80 頭

山羊： 23 頭

登記頭数

和牛： 6, 749 頭

種豚： 482 頭

山羊： 35 頭

遺伝子検査頭数

乳牛： 174 頭

和牛： 1, 663 頭

種豚： 13 頭

キ. 家畜登録円滑化事業（自主）

家畜登録を円滑に進めるために必要な活動を行いました。

（7）畜産の調査・研究に関する事業（10事業）

ア. 新規参入円滑化推進事業（農畜産業振興機構・補助）

肉用牛繁殖基盤強化総合対策事業（新規参入円滑化等対策事業）によって農協等から飼養管理用施設等の貸し付けを受けた新規参入者に対し、調査及び経営改善支援等を行いました。

指導戸数： 2 戸

イ. 放牧畜産展示・研修牧場調査事業（日本草地畜産種子協会・受託）

県内公共牧場の牧場放牧データ等の調査、指導、確認を実施するとともに調査台帳をとりまとめました。

調査牧場数： 2 戸

ウ. 畜産経営改善のための支援・表彰事業（中央畜産会・受託）

優良な畜産経営体、優れた畜産経営支援・指導者、畜産を核とした地域振興の取り組み、優れた畜産研究開発等の情報収集を行い、畜産経営体に対する普及啓発を図るとともに、畜産大賞への参加を推進しました。

中央審査推薦件数

経営部門： 1 件

地域畜産振興部門： 1 件

エ. 改良増殖技術実態調査事業（中央畜産会・受託）

県内に飼養されている全家畜の飼養頭羽数、人工授精実施状況等の調査を行い、家畜改良関係資料としての活用を図りました。

オ. 畜産経営の実態把握業務（中央畜産会・受託）

全国規模の集計・分析を行って経営支援のための資料を作成する目的で、県内の先進的畜産経営の経営実態を調査しました。

調査戸数： 5 戸

カ. 動産担保融資活用体制整備事業（中央畜産会・受託）

新しい資金調達方法として注目されている動産担保融資の利用状況や動産担保融資に対する考え方、動産担保融資を実施する場合のモニタリング項目などについて調査を実施しました。

調査戸数： 2 戸

キ. 家畜排せつ物活用優良事例調査委託事業（中央畜産会・受託）

家畜排せつ物の利活用を核とした構築連携の取り組みについて優良事例を調査し、全国団体作成の事例集に掲載しました。

調査戸数： 1 件

ク. 新規就業者確保・定着促進事業雇用状況調査（中央畜産会・受託）

畜産経営における雇用状況および雇用に対する考え方を把握するため、正規職員・臨時職員を雇用する畜産経営を対象としたアンケート調査を実施しました。

調査戸数： 22 戸

ケ. 鶏卵鶏肉出荷予測事業（鶏卵）（群馬県・受託）

県内採卵鶏業者に対し、年2回（6月、12月）生産動向等の調査を行い、需

給の見通しについて資料を作成しました。

調査戸数： 43 戸

コ. 養蜂振興対策事業（養蜂流通実態調査）（群馬県・受託）

良質で安定したはちみつ生産に必要な、県外転飼状況、品質表示状況、みつ源等の調査を実施しました。

調査戸数： 135 戸

（8）地域の畜産振興に資する事業（11事業）

ア. 新公益法人移行推進事業（自主）

新公益法人移行検討委員会設置要領に基づいて検討委員会を設置し、新公益法人への円滑な移行に必要な事項の検討、調査を実施しました。

イ. 生産者団体等事務受託事業

事務受委託契約に基づき、生産者団体等の事務を実施しました。

- ① 群馬県養鶏協会事務受託
- ② 群馬県種鶏孵卵協会事務受託
- ③ 群馬県養蜂協会事務受託
- ④ 群馬県家畜育成牧場連絡協議会事務受託
- ⑤ 群馬県山羊・めん羊振興会事務受託
- ⑥ 群馬県養豚協会事務受託
- ⑦ 群馬県乳牛改良協会事務受託
- ⑧ 群馬県和牛改良組合連絡協議会事務受託
- ⑨ 群馬県家畜人工授精師協会事務受託
- ⑩ 群馬県畜産技術連盟事務受託

2 特別会計事業（10事業）

ア. 肉用牛肥育経営安定特別対策事業

肉用牛肥育経営の収益性低下を補てんするために、生産者、群馬県、農畜産業振興機構により造成された基金の管理を行いました。

イ. 肉用子牛生産者補給金制度業務

肉用子牛市場価格の低落時に交付する補給金のために、生産者、群馬県、農畜産業振興機構により造成された基金の管理を行いました。

ウ. 畜産経営流通対策事業（畜産物価格安定推進）

豚枝肉価格の低落による養豚経営への影響を緩和する価格差補てん金のために生産者、群馬県、関係団体により造成された基金の管理を行いました。

エ. 家畜防疫互助基金補助事業

豚コレラ等の海外悪性伝染病が発生した場合に、飼養する牛、豚の自主淘汰に伴う損失を生産者等が互助補償する全国的な仕組みに対して設けた県段階の基金を管理しました。

オ. 死亡牛緊急処理円滑化推進事業

死亡牛に対するBSE検査の円滑な実施を推進するため、検査場所から処理施設までの死亡牛輸送費の農家負担分を預かり、一括して輸送事業者へ支払う会計の管理を行いました。

カ. 酪農ヘルパー事業円滑化対策事業

酪農ヘルパー事業円滑化対策基金を取り崩して、酪農ヘルパーの組合間相互利用に対する補助、組合運営や出役活動、酪農ヘルパーの実務に必要な資材に対する補助等を実施し、利用組合の活動強化を図りました。

利用組合数： 12 組合

組合員数： 638 戸

出役回数： 13, 370 回（1戸当たり年間約20日の休日取得）

キ. 酪農ヘルパー傷病時等利用互助事業

傷病時のヘルパー利用に対して、加入者からの積立金および酪農ヘルパー全国協会が実施する酪農ヘルパー利用拡大推進事業を利用して、経済的負担の軽減を図りました。

加入者数： 562 戸 956 名

互助金支払： 35 名

負担軽減額： 4, 690 千円

ク. 家畜衛生対策運営基盤強化基金

果実を家畜衛生事業の円滑な推進に必要な経費の一部に充てるため、農畜産業振興機構及び地元により造成された基金の管理を行いました。

ケ. 畜産経営活性化基金

果実を畜産ヘルパー事業の円滑な運営に必要な経費の一部に充てるために群馬県及び生産者団体により造成された基金の管理を行いました。

コ. 家畜改良積立金

家畜の能力改良等を促進するために実施する事業の経費の一部に充てるため、生産者より拠出された積立金の管理を行いました。